

有限会社 弓削銘水堂

SDGs宣言

2022年8月1日
有限会社 弓削銘水堂
代表取締役 弓削 智裕

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）」に賛同し、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

SDGsの達成に向けた取り組み

「商品・サービス」

「豆腐屋」の使命として、事業活動を通じて農業・農地を守り、地域の食を守るという挑戦を続けてまいります。こだわりの大豆を使用し、心を込めた手作りによって、健康でおいしい豆腐を“庶民の味方”の価格で安定して提供します。

<主な取り組み>

- ・営農組合と協力し、国産の栽培期間は農薬不使用の大豆の仕入れを徹底
- ・県 HACCP 認証取得に取り組み、IP ハンドリングされた Non-GMO 大豆を使用するなど、安心できる製品の提供
- ・職人による手寄せ製法にこだわり、熟練の技術による製品の製造



「環境」

社内工程の見直しによる廃棄物の削減を行い、リデュース、リユースを徹底してまいります。地球環境の保護に寄与する取り組みを継続して推進してまいります。

<主な取り組み>

- ・廃棄物の年間削減目標を掲げ、廃油のバイオ燃料リユース、おからの販売等により3割減を達成、今後も削減の取り組みを継続実施
- ・商品パッケージのプラスチック利用削減、事業所における省エネ活動実施
- ・生協の業者会を通じインドネシアのマングローブの保護活動に協力



「人権・働きがい」

経営理念「みんなで幸せになろうね」のもと、ダイバーシティ経営と労働安全衛生への取り組みを推進し、全従業員が安心、安全に働ける職場づくりを行ってまいります。

<主な取り組み>

- ・女性、高齢者、障がい者の積極的な採用と誰もが活躍できる職場作りの実施
- ・「残業しない」職場で従業員のワークライフバランス実現に貢献
- ・労働安全、労働環境に関する勉強会を継続実施
- ・作業ベースの安全性を定期的に見直し、改善実施



「地域貢献・社会貢献」

事業活動を活かして地域社会の課題解決に積極的に取り組み、後世に和食文化の素晴らしさを伝えていくため、地域コミュニティと連携しながら地域の食と未来を守り、地域社会への貢献をこれからも継続してまいります。

<主な取り組み>

- ・地元高校生とコラボ製品を考案・販売し教育機会の提供
- ・道の駅への出店、町中の空きスペースでの設置販売による買い物難民支援
- ・子ども食堂支援として、豆腐、おからを定期提供
- ・食育の一環として地元の学校給食に国産大豆を使用した豆腐を供給



SDGsとは

SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、2015年9月に国連で採択された2030年までの国際目標。「地球上の誰一人取り残さない」をスローガンに、持続可能な社会の実現を目指しており、経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成されています。